

# 決算

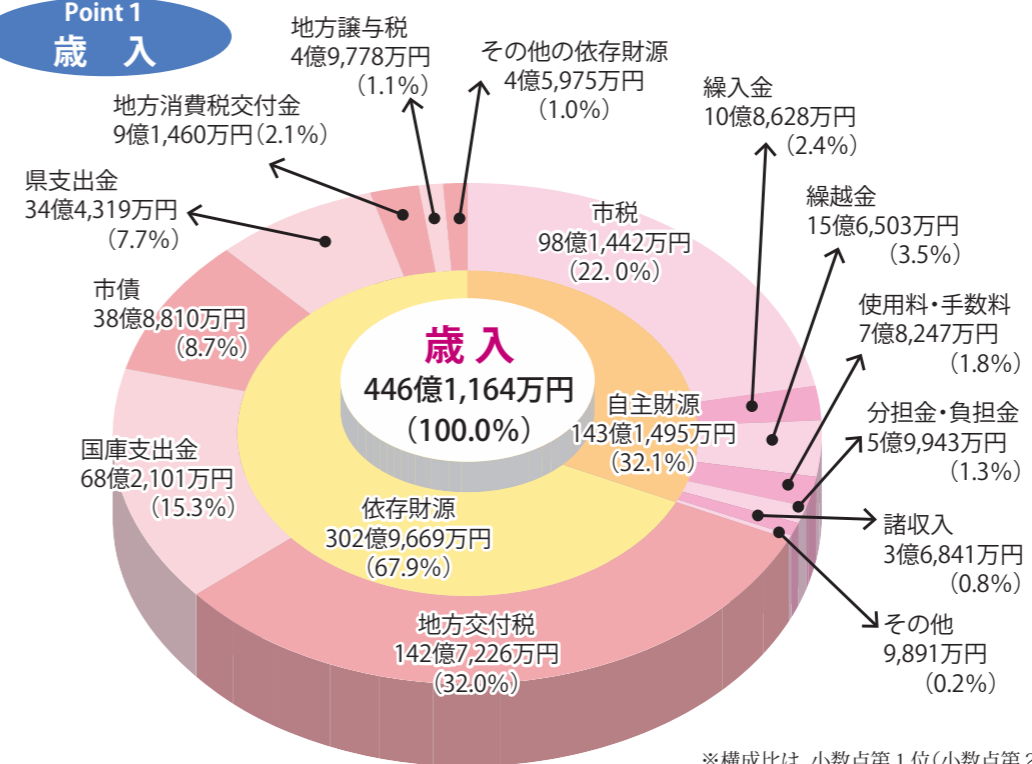
を報告します

【問い合わせ】市財政課 ☎0994-31-1126

平成24年度一般会計・特別会計及び企業会計の決算が、市議会12月定例会で承認されました。そこで、皆さんに納めていただいた税金や国・県からの補助金などがどのように使われたのかをお知らせします。

※構成比は、小数点第1位(小数点第2位を四捨五入)で表示しているため、構成比の総計は必ずしも100%にはなりません。

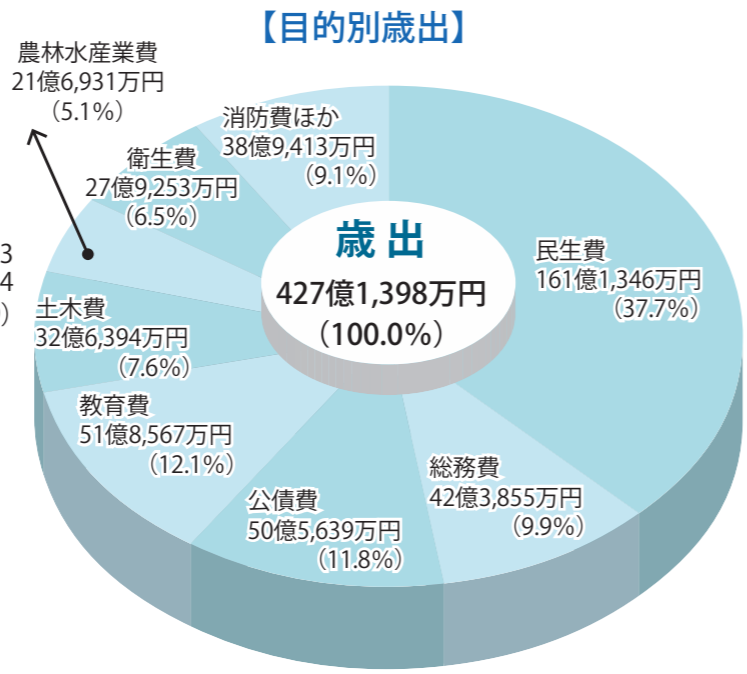
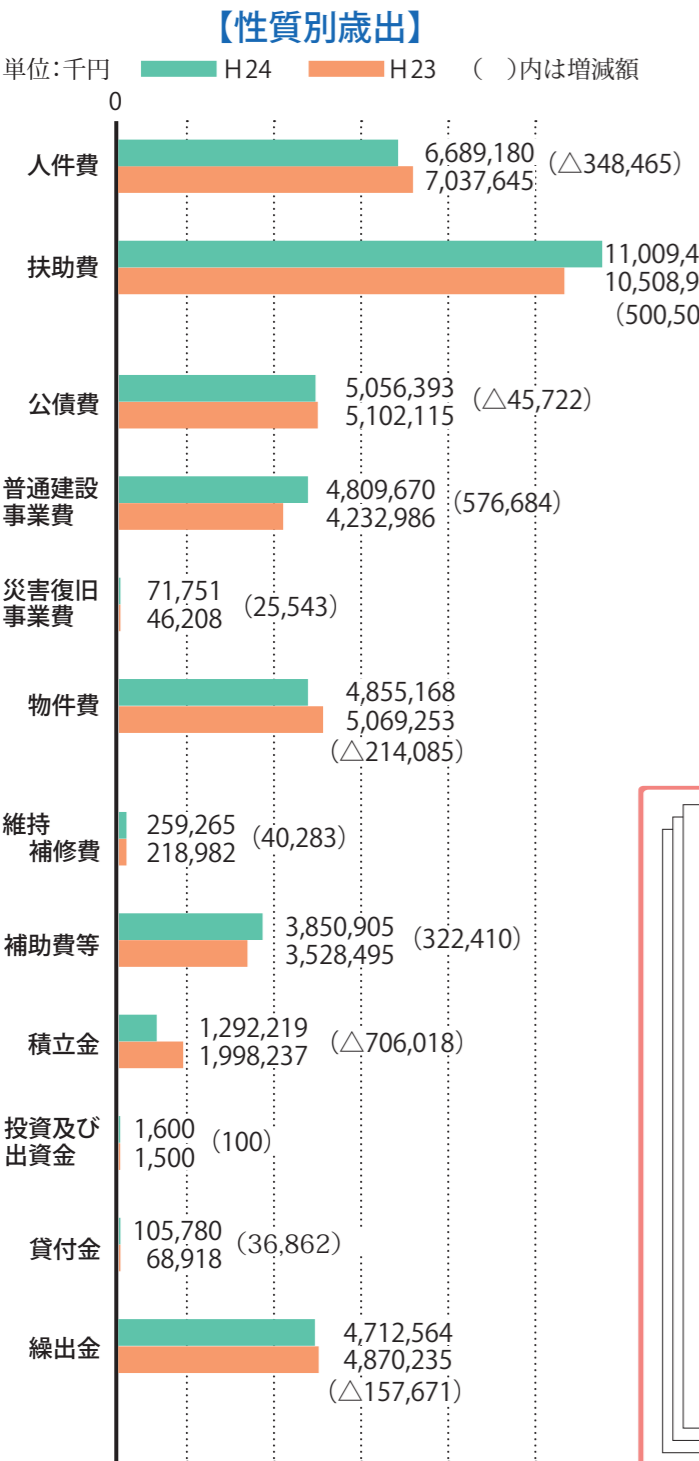
## Point 1 歳入



## 収入

収入科目	金額(円)
給料(市税)	9万8千円
雑収入(使用料、手数料など)	1万8千円
預貯金の取崩し(繰入金)	1万1千円
前年の残金(繰越金)	1万6千円
使い道の決められた親からの援助 (国庫支出金・県支出金)	10万3千円
自由に使える親からの援助 (地方交付税、譲与税など)	16万1千円
銀行からのローン(市債)	3万9千円
<b>収入合計</b>	<b>44万6千円</b>
翌年への繰越	1万9千円

## Point 2 歳出



## 家計簿

※この家計簿は、人口を10万人として、市民1人当たりの家計に換算したものです。

### 支出

支出科目	金額(円)
食費(人件費)	6万7千円
医療費・教育費(扶助費)	11万0千円
ローンの返済(公債費)	5万1千円
家の増改築(普通建設事業費)	4万8千円
自然災害による家の補修費(災害復旧事業費)	1千円
光熱水費、日用雑貨(物件費)	4万8千円
家や車の修繕費(維持補修費)	3千円
町内会、サークル会費(補助費等)	3万8千円
預貯金(積立金) 株式投資(投資及び出資金)	1万4千円
知人に貸したお金(貸付金)	
子どもへの仕送り(繰出金)	4万7千円
<b>支出合計</b>	<b>42万7千円</b>

## 歳出を解説

- ▼ **民生費** 高齢者福祉、医療、保育費などの費用
- 子どものための手当費
- 保育所運営費
- 生活保護事業 など
- ▼ **総務費** 地域振興などにかかる費用
- 町内会関係経費
- 交通安全対策事業
- 総合窓口導入事業 など
- ▼ **公債費** 過去の借入金の返済にかかる費用
- 元金・利子償還
- ▼ **教育費** 学校施設の維持管理・整備や学校教育及び生涯学習などにかかる費用
- 学校施設耐震化促進事業
- 花岡小中一貫校整備事業
- 幼稚園就園奨励費補助 など
- ▼ **土木費** 道路や公営住宅などの管理・整備にかかる費用
- 足元道路・幹線道路整備事業
- 桜ヶ丘市営住宅建替事業など
- ▼ **農林水産業費** 農道整備や農林水産業振興等にかかる費用
- 次世代担い手育成支援事業
- 漁業付加価値向上対策事業
- 土地改良整備事業 など
- ▼ **衛生費** 保健衛生やごみ処理などにかかる費用
- 小型合併処理浄化槽設置整備事業
- 健康診査・がん検診事業
- 夜間急病センター事業 など
- ▼ **消防費ほか** 消防、災害対策や基金積立、商工業振興、議会運営などにかかる費用

## 歳入を解説

- ▼ **市税** 市民税や固定資産税など市に納められた税金
- 市民税 42億9千859万円
- 固定資産税 40億7千195万円
- 軽自動車税 2億8千668万円
- たばこ税 7億3千431万円
- 都市計画税 4億2千289万円
- ▼ **繰入金** 事業の目的に沿って積み立てておいた基金を取り崩すお金
- 繰入金 10億8,628万円
- ▼ **地方交付税** 地域によって地方税の収入額に差があることなどから、地方間の財政力の不均衡を是正し、必要な財源を保障するために国から交付される資金
- 普通交付税 129億1千531万円
- 特別交付税 13億5千695万円
- ▼ **国庫支出金** 国からの補助金や負担金など(子どものための手当、障害者自立支援給付費、学校施設環境改善交付金、私立保育所運営費、生活保護費 など)
- ▼ **市債** 市が建設事業や災害復旧事業などを行うとき、財源となる借入金
- ▼ **県支出金** 県からの補助金や負担金など(緊急雇用創出事業、森林整備・林業木材産業活性化推進事業費 など)

Point 4  
特別会計

特定の保険料や料金収入によって事業を行う会計です。本市では、次の6事業が該当します。

(単位：千円)

会計名	歳入(A)	歳出(B)	差引(A-B)	会計名	歳入(A)	歳出(B)	差引(A-B)
国民健康保険事業	12,982,491	12,918,260	64,231	下水道	41,518	40,633	885
後期高齢者医療	1,034,518	1,023,431	11,087	輝北簡易水道事業	295,073	283,110	11,963
介護保険事業	9,634,576	9,414,118	220,458	合計	25,146,005	24,803,281	342,724
公共下水道事業	1,157,829	1,123,729	34,100				

Point 5  
補助金

平成24年度補助金の歳出決算額は1,826,064千円で、次の事業等に支出されています。

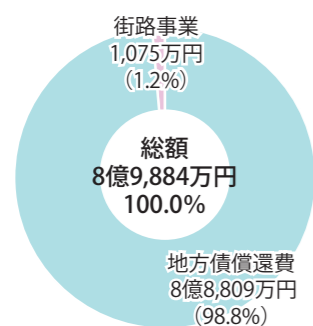
区分	金額	内訳
議会費	5,213千円	政務調査費
総務費	214,218千円	地デジ放送難受信対策事業(108,675千円)、 廃止路線代替バス運行事業(76,561千円)など
民生費	395,441千円	保育対策促進事業(126,290千円)、 社会福祉協議会運営補助事業(73,188千円)など
衛生費	232,964千円	小型合併処理浄化槽設置(201,658千円)、 住宅用温暖化対策設備設置(16,365千円)など
労働費	51,161千円	シルバー人材センター補助(22,010千円)、若年者雇用奨励金(13,467千円)など
農林水産業費	484,975千円	森林整備・林業木材産業活性化推進事業(178,314千円)、 漁業付加価値向上対策(69,134千円)など
土木費	60千円	木造住宅耐震改修促進事業(60千円)
商工費	258,697千円	企業誘致推進事業(171,749千円)、 中小企業資金利子補給事業(30,967千円)など
消防費	99千円	自主防災組織活動助成金(99千円)
教育費	183,236千円	幼稚園就園奨励費補助(134,684千円)、競技スポーツ推進事業(25,150千円)など

Point 6  
都市計画税

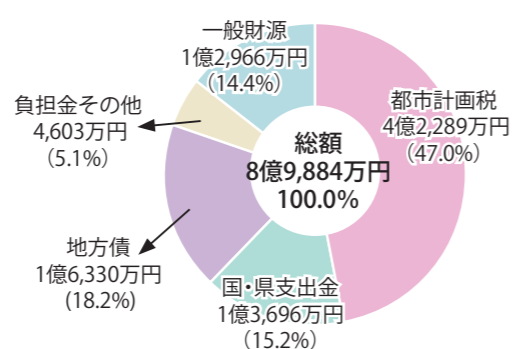
都市計画税は、都市計画法に基づいて行う都市計画事業又は土地区画整理法に基づいて行う土地区画整理事業の費用に充てるため、都市計画区域内の土地や家屋の所有者に対して課税される目的税です。

平成24年度の都市計画税の決算額は、4億2,289万円で、主に街路事業や都市公園整備、区画整理、下水道事業等のため過年度に借りた市債の償還金の財源の一部として活用されています。

○都市計画税が使われている事業



○左のグラフの財源内訳



※構成比は、小数点第1位(小数点第2位を四捨五入)で表示しているため、構成比の総計は必ずしも100%にはなりません。

Point 3  
財政指標

地方公共団体の財政力や財政状況が健全かどうかを客観的に判断する指標として、「財政力指数」「健全化判断比率」などがあります。

ここでは、7つの指標から、本市の財政状況を紹介します。

指数項目	内容	鹿屋市
①財政力指数 (3か年平均)	地方公共団体の財政力を判断する指標で、地方交付税法の規定により算定された基準財政需要額で基準財政収入額を除いて得た数値の過去3年間の平均値をいいます。 一般的に「1」に近いほど、さらに「1」を超えるほど財政力が強いとされています。	前年と同じ 0.44 → 0.44
②経常収支比率	財政構造の弾力性を判断する最も一般的な指標で、歳出の経常的経費に充当された一般財源等が歳入の経常一般財源等に占める割合です。 70%～80%が標準的とされ、比率が低いほど財政構造に弾力性があるといわれています。	前年より改善 91.7% → 91.5%
③実質赤字比率	一般会計などを対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する比率です。 鹿屋市は一般会計等における実質収支は黒字であり、「-」で示しています。	赤字なし -
④連結実質赤字比率	全会計を対象とした実質赤字額又は資金の不足額の標準財政規模に対する比率です。 鹿屋市はすべての会計において実質収支は黒字であり、「-」で示しています。	赤字なし -
⑤実質公債費比率 (3か年平均)	公債費による財政負担の程度を客観的に示す指標として、実質的な公債費に費やした一般財源の額が標準財政規模に占める割合を表すものです。 実質公債費比率が18%以上の団体については、地方債の発行に許可を要し、25%以上の団体については、実質公債費比率の区分に応じて、起債の制限を受けます。	前年より改善 12.0% → 11.8%
⑥将来負担比率	地方公共団体の一般会計などの借入金(地方債)や将来支払っていく可能性のある負担などの現時点での残高を指標し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示す比率です。 350%を超えると健全化計画を策定し、財政の健全化を図らなければなりません。	前年より改善 49.1% → 37.9%
⑦資金不足比率	公営企業会計ごとの資金不足額の事業規模に対する比率です。鹿屋市はすべての公営企業において資金不足がないため、「-」で示しています。 (鹿屋市の公営企業会計：水道事業会計、公共下水道事業特別会計、下水道特別会計、輝北簡易水道事業特別会計)	赤字なし -